

## 令和元年度第2回国民健康保険運営協議会

1 開催日時 令和2年2月7日(火)午後1時30分～午後3時00分

2 開催場所 浦安市役所4階会議室S6

3 出席者

(委員)

佐久間委員、大村委員、高木委員、高橋委員、佐藤委員、杉田委員、原口委員、高須委員、高梨委員、田中委員

(欠席者)

なし

(事務局)

岡部健康こども部長、大塚健康こども部次長、町山国保年金課長、北嶋国保年金課課長補佐、高梨国保年金課保険税係長、柿島国保年金課給付係長

4 議題

- (1) 会長代理の選任について
- (2) 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算について
- (3) 令和2年度国民健康保険特別会計当初予算(案)について
- (4) 浦安市国民健康保険脳ドック費用の助成について(報告)

5 議事の概要

- (1) 会長代理の選任について、協議し、選出を行った。
- (2) 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算について内容を説明し、審議を行った。
- (3) 令和2年度国民健康保険特別会計当初予算(案)について内容を説明し、審議を行った。
- (4) 脳ドック費用の助成について内容を説明し、審議を行った。

6 傍聴

傍聴者： 2名

7 会議経過

議事に基づき、議長及び事務局から説明を行い、審議した。概要は、次のとおりである。

- (1) 会長代理の選任について

推薦により、商工会議所代表の高木氏が選出された。

(2) 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算について

- ・委員 12月補正予算で保険給付費が増額となっているが、財源はあるのか。
- ・事務局 保険給付費の12月補正分については、支出を行った場合、すべて県支出金である普通調整交付金の対象となり、交付される予定である。

(3) 令和2年度国民健康保険特別会計当初予算(案)について

- ・委員 一般会計からの繰入金は、今後どうしていくのか。
- ・事務局 一般会計からの法定外繰入金のうち、その他繰入金赤字補てん分については、県より減らすように指示されており、削減していく必要があるものと考えています。被保険者にとって、急激な国民健康保険税の負担増にならないように検討していく考えです。

(4) 脳ドック費用の助成について(報告)

- ・委員 費用の助成は2年に一度、連続で受診不可ということは、1年おきということか。
- ・事務局 隔年で助成を行う。
- ・委員 脳ドック費用の助成額を限度額15,000円と設定した理由は何か。
- ・事務局 市内で脳ドックを行っている医療機関における費用額の平均の半額相当とし、近隣自治体の均衡を考え、15,000円とした。
- ・委員 近隣市で費用額全額を補助しているところはあるのか。
- ・事務局 千葉県内の市町村において、全額助成を行っているところはない。
- ・委員 この事業を行うことで、一般会計からの繰入金は増えるのか。
- ・事務局 財源については、補助金等はないためその他繰入金でまかなうことになるが、赤字補填目的の繰入金には該当しない。

令和2年2月7日

浦安市国民健康保険運営協議会

会長

佐久間 清